

2021年12月1日

2022年春より自動改札機にQRコードリーダーを設置し、 QRコードを活用した便利でお得なデジタル乗車券の発売を開始します

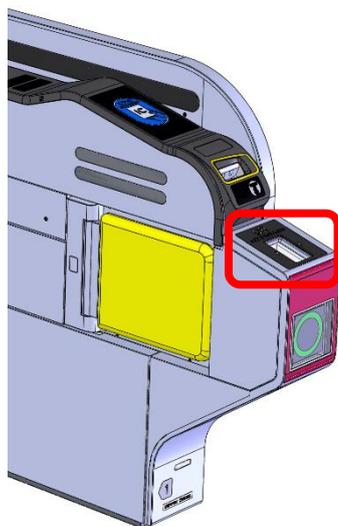
近鉄では、2022年春より、事前の窓口購入が不要となるQRコードを活用したデジタル乗車券を発売します。お客さまは、今回新たに構築した当社販売サイトでクレジット決済によりデジタル乗車券をご購入していただき、各駅の自動改札機でスマートフォンのQRコードをかざすことでご購入からご利用までスマートフォンを使ってシームレスにご旅行を楽しんでいただけます。なお、専用アプリのダウンロードは不要となります。

まずは、近鉄名古屋駅から伊勢志摩方面の観光地などを周遊できるデジタル乗車券を発売します。QRコードは出発駅の近鉄名古屋駅、伊勢志摩エリアの伊勢市駅、宇治山田駅、五十鈴川駅、鳥羽駅、鶴方駅、賢島駅（合計7駅）の自動改札機に設置します。

近鉄名古屋駅は首都圏から伊勢志摩をご旅行されるお客さまの玄関口となっており、デジタル乗車券をご利用いただくことで、伊勢志摩での観光をお手軽にお楽しみいただけるようになります。さらに今後は順次ご利用できる駅を拡大するとともに、デジタル乗車券の種類も増やしていく予定です。

将来的には今回構築した販売システムを拡大し、旅行会社などのプラットフォームとの連携も視野に入れており、デジタル技術の進展に対応したサービスの実現を進めていきます。

詳細は別紙のとおりです。



自動改札機へのQRコードリーダー設置イメージ



QR乗車券の画面イメージ

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

別紙

1. イメージ（画像はすべて開発中のものです）

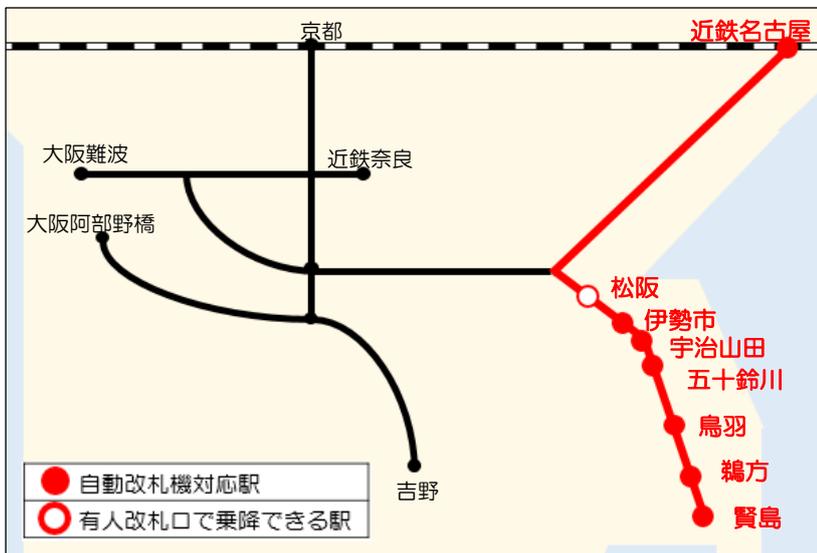


2. 自動改札機へのQRコードリーダー設置駅

近鉄名古屋駅、伊勢市駅、宇治山田駅、五十鈴川駅、鳥羽駅、鵜方駅、賢島駅の計7駅の一部の自動改札機にQRコードリーダーを設置します。

※このほか、松阪駅の有人改札口にQRコード読取機能を備えた専用端末を設置することで、QRコードでの乗降可能駅といたします。

※対象駅は順次拡大していく予定です。



QRコードで乗降可能な駅

3. 開始時期

2022年春を予定しています。

デジタル企画乗車券の商品内容・発売開始日・発売価格等の詳細については、決まり次第お知らせします。

4. 将来的な展望

(1) 販売チャネルの拡大

- ・国内外の観光客でも簡単に購入できる環境を整え、販売チャネルを拡大

(2) キャッシュレス化の推進

- ・スピーディーかつスムーズな決済により現金の授受、管理業務を省略

(3) 業務の効率化

- ・乗車券類をデジタル化することで、発券、改札、案内などにかかる業務を効率化
- ・現状の紙の乗車券で必要な業務コストを削減

(4) 次世代型シームレスサービスの実現

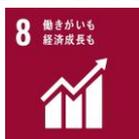
- ・移動、購買にかかるさまざまなリアルタイムデータを一元的に集約および分析し、新規需要の創出や地域全体の競争力強化・魅力向上に寄与する新たなサービスを実現

【SDGs への貢献】

新たな働き方・生産性の向上／利便性向上による観光振興（8. 働きがいも経済成長も）

鉄道営業のデジタル化の促進（9. 産業と技術革新の基盤をつくろう）

資源削減への貢献（12. つくる責任つかう責任）



近鉄グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

以上